

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40			2.9
1 音環境		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		5.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	外部サッシの遮音性能はT2で設定している。	5.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能		1.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		2.0	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.8	0.35	-	-	2.8
2.1 室温制御		2.7	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		2.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.6	0.25	-	-	2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30	-	-	
1 昼光率		1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能		3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		2.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		1.0	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画	歴史のある保養地として考えた雰囲気をもった内装材料を選定。	5.0	1.00	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	住宅品質確保促進に関する法律におけるコンクリートの評価方法基準で等級3相当。	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外、厨房ダクトはガルバリウムとして、長寿命化を図っている。	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	水道用塩ビライニング管、耐火二層管、冷媒管等により長寿命化。 給水管:塩ビライニング管VLP(B) 給湯管:一般配管用ステンレス管(C)	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2 給排水・衛生設備	上水と井水の受水槽を分離して、飲料水と雑用水に供給している。	4.0	0.20	-	-		
	3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-		
	3 対応性・更新性		3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		-	-	-	-		
	2 空間の形状・自由さ		-	-	-	-		
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	-	-			
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性		3.0	1.00	-	-		
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7	
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.7		
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.9		4.0	0.20	-	-	4.0	
	外部・屋根に断熱材を設置し、熱負荷低減を図っている。							
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	BEI _m 非住宅 0.82 住宅(専有部) -		4.0	0.50	-	-	4.0	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI _m =0.82	4.0	1.00	-	-		
	集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-		
4 効率的運用	集合住宅以外の評価		3.0	0.20	-	-	3.0	
	4.1 モニタリング		3.0	1.00	-	-		
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価		-	-	-	-		
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-		
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8		
1 水資源保護	1.1 節水	節水コマ及び節水型便器を用いている。	3.8	0.20	-	-	3.8	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無	既存の井戸を上水として利用する。	4.0	0.40	-	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4	
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.20	-	-	3.0	
	3.2 フロン・ハロンの回避	1 消火剤		3.0	0.30	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.70	-	-	
		3 冷媒		-	-	-	-	
				3.0	0.50	-	-	
3.0	0.50	-	-					
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2		
1 地球温暖化への配慮	機器・材料類の長寿命化により、CO2削減を計ります。 LCCO2排出率85%。		3.6	0.33	-	-	3.6	
			3.0	0.33	-	-	3.0	
2 地域環境への配慮	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
		2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
		3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1 騒音		3.0	0.40	-	-		
	2 振動		3.0	1.00	-	-		
	3 悪臭		-	-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	1 風害の抑制		3.0	0.40	-	-	
		2 砂塵の抑制		3.0	0.70	-	-	
		3 日照障害の抑制		1.0	-	-	-	
	3.3 光害の抑制	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.30	-	-	
		2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.20	-	-	
				3.0	0.70	-	-	
			3.0	0.30	-	-		